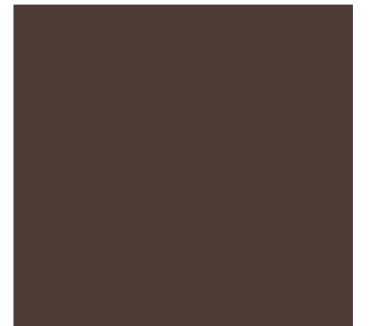
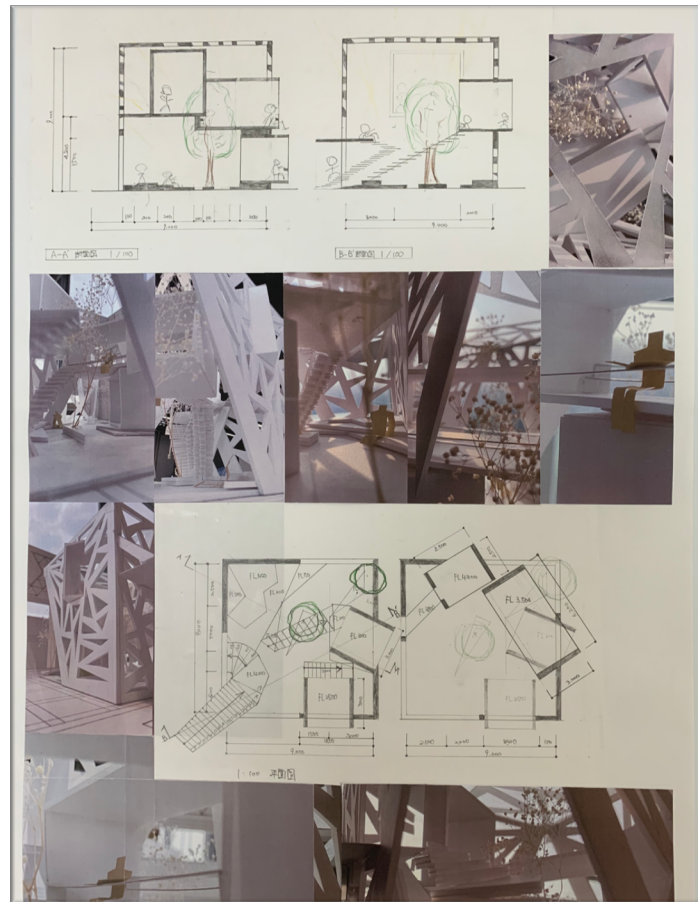


箱の集合

22UH023 木山翔太



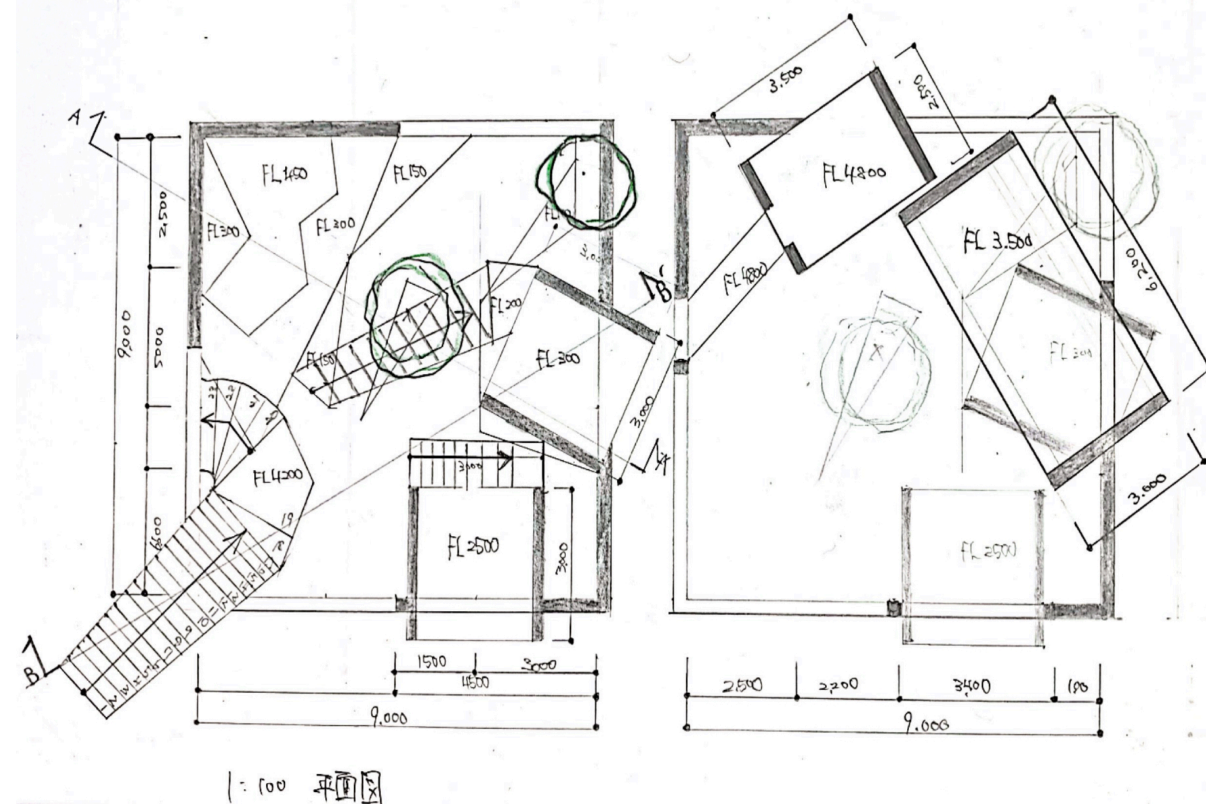
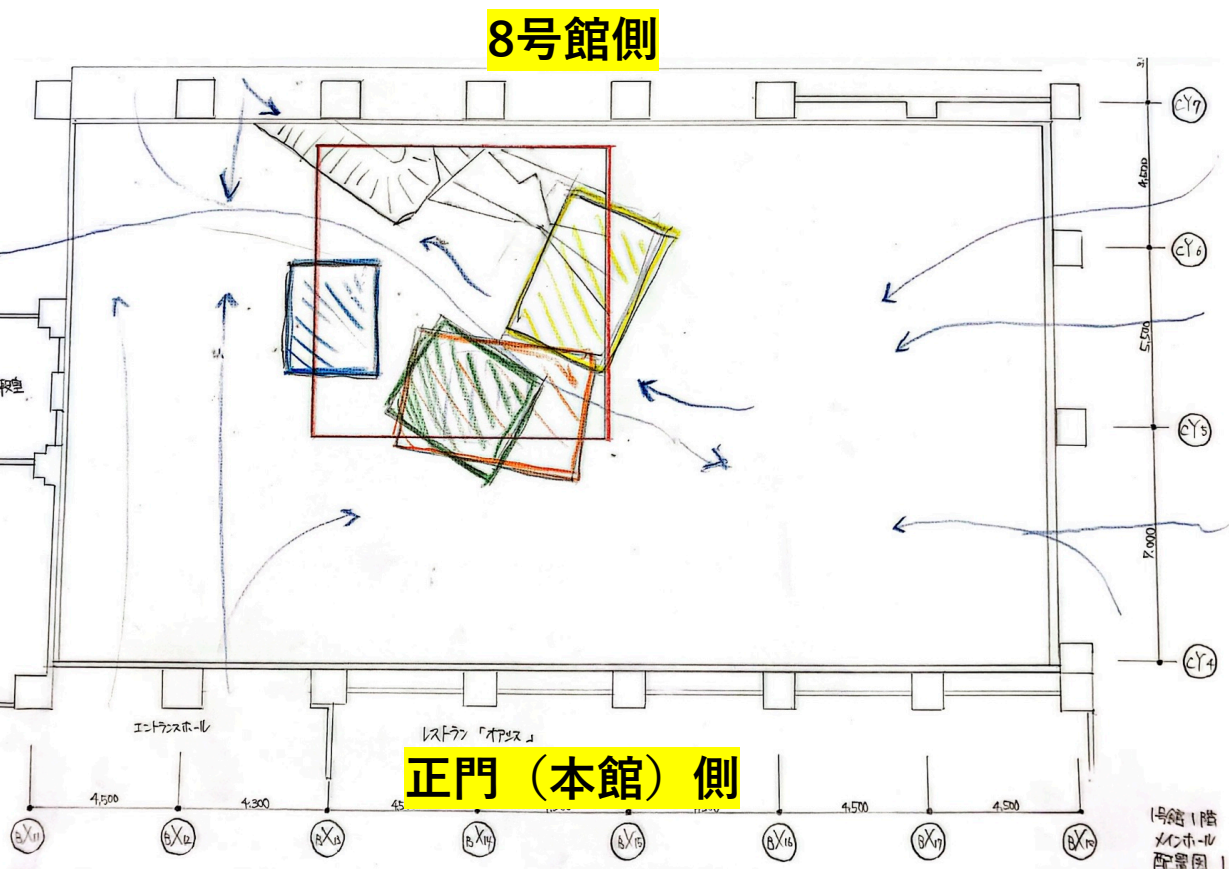
■計画空間の考察

○敷地調査

- 授業の合間、昼食時に人が留まりやすい
- ベンチが配置され、留まる空間と移動する空間が混在している
- 時間によって入る光の量、角度が変化
→人の居場所も変化している
- ベンチでパソコン作業や食事をしている人もいる



■ 平面図、配置図、人の流れ



■設計概要

計画空間への提案

- ・ 木陰で休むようなイメージで、
落ち着ける空間をつくる
- ・ 机、椅子を適宜配置
 - 喋りながら勉強できるスペース
 - 休憩できるスペース
- ・ 使用用途にとらわれない空間
- ・ 移動空間と留まる空間の適度な分離





■ 全体計画、構成

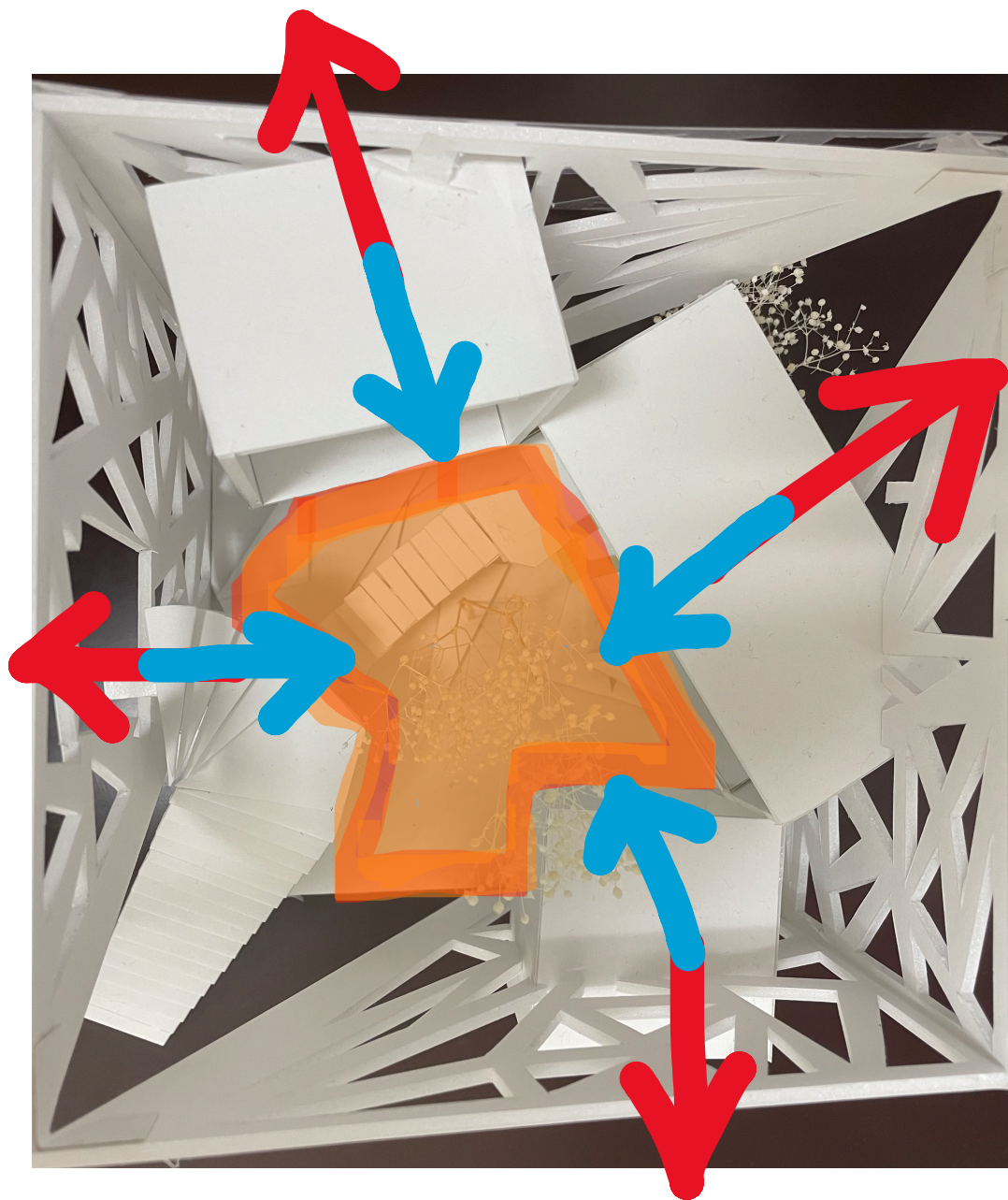
(一号館とCUBEの関係)

・ CUBEから迫り出した階段
を登ると二階廊下に直結する

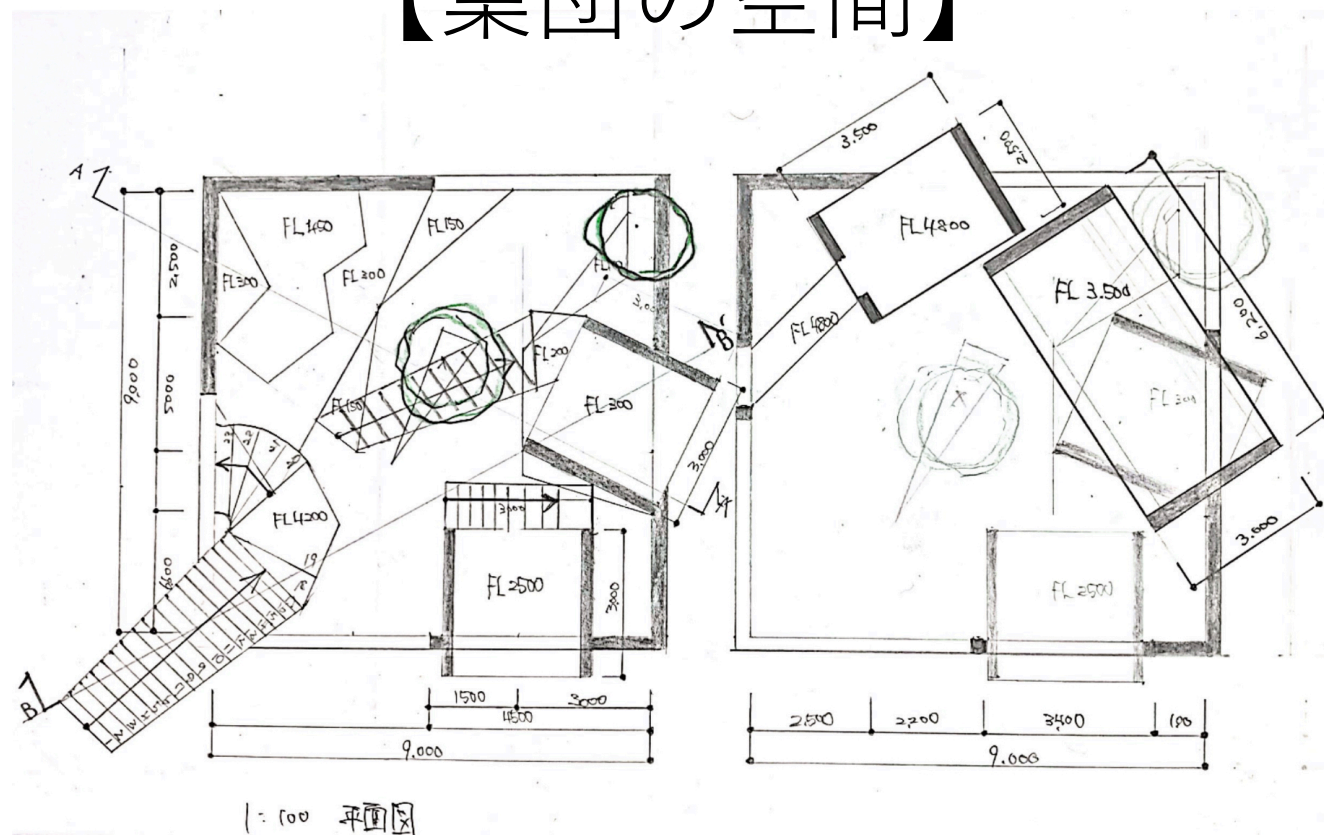


人の分散
CUBEに人を取り込む

迫り出している→アプローチしやすい



- ・ 内→外に向ける
【個の空間】
- ・ 外→内に向ける
【集団の空間】





■特徴的な空間、
気持ちの良い空間

■ 開口と外観

樹木の枝を意識した、三角形の開口
(側面4面、天井)



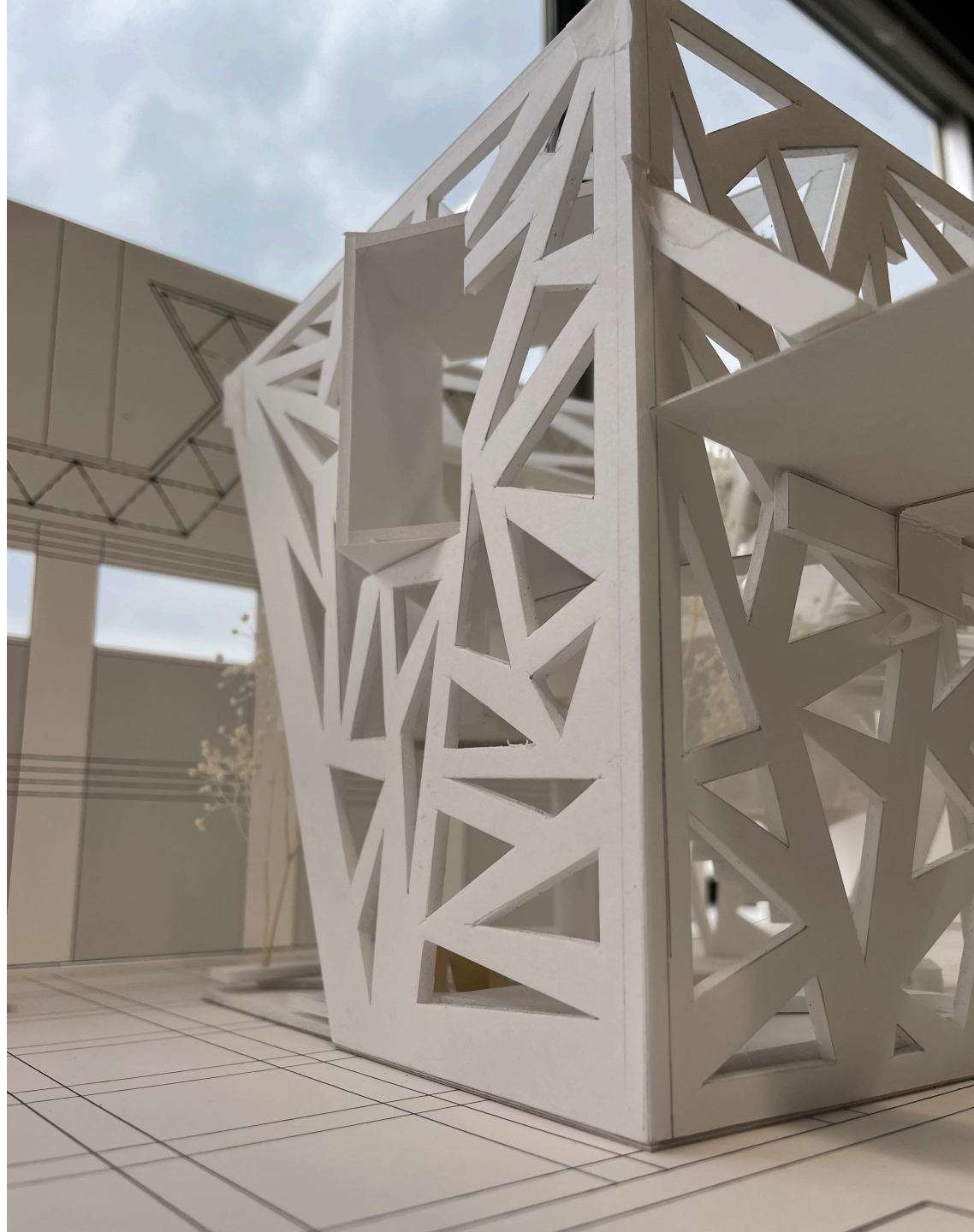
天井からの日差しに対する木陰



過ごす人の**快適性**

◎窓ガラスをつけない

→光、通気性、外との繋がり、広がり





■開口と外観

規則のないカット（三角形）



外からの視線を遮る

日の差し方で影のでき方も変わる



落ち着く空間

空間に「飽き」を感じさせない

■移動する空間、留まる空間

それぞれの箱を通路や階段で繋がない



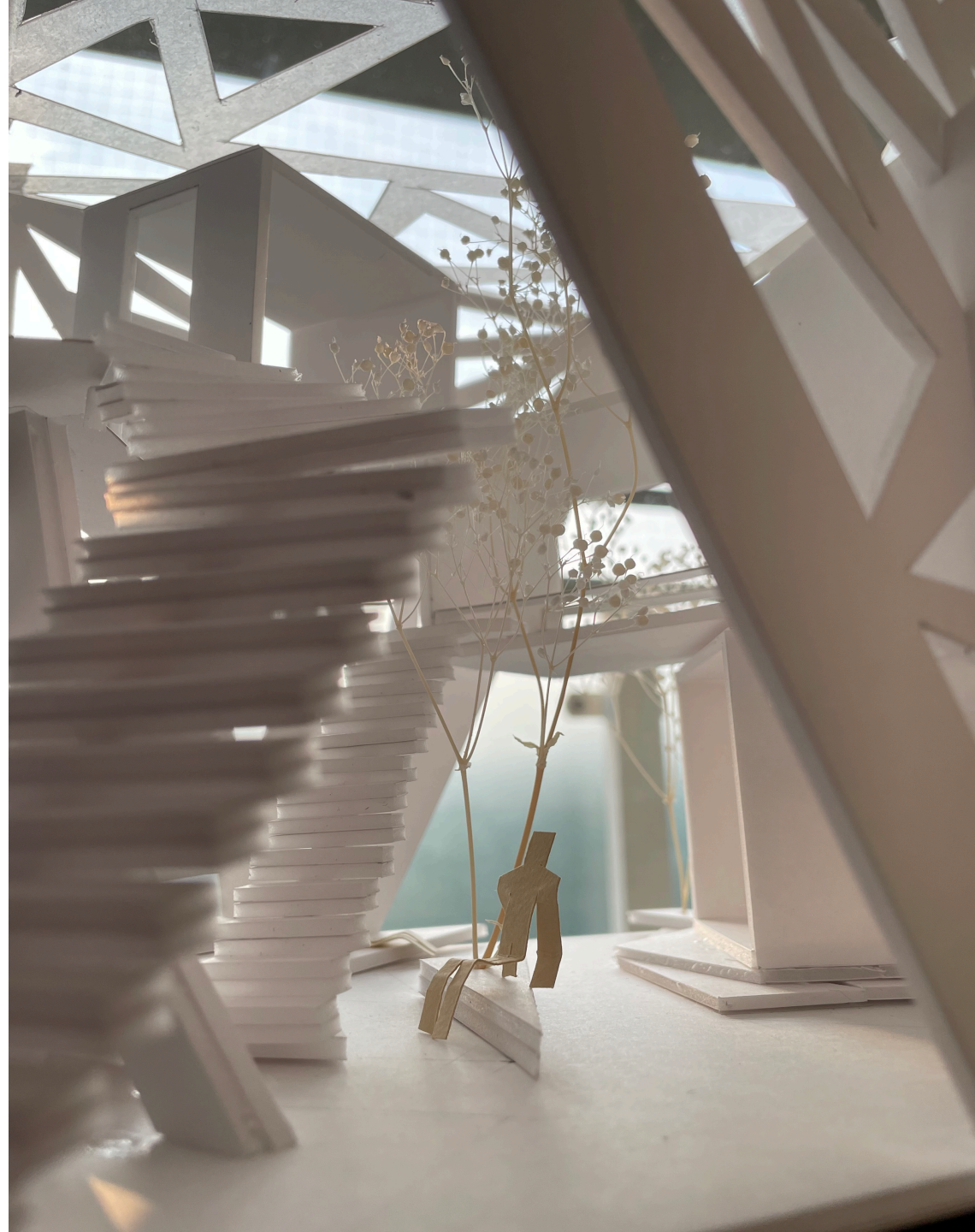
箱が独立



空間にメリハリ

【移動する空間と留まる空間を分離】

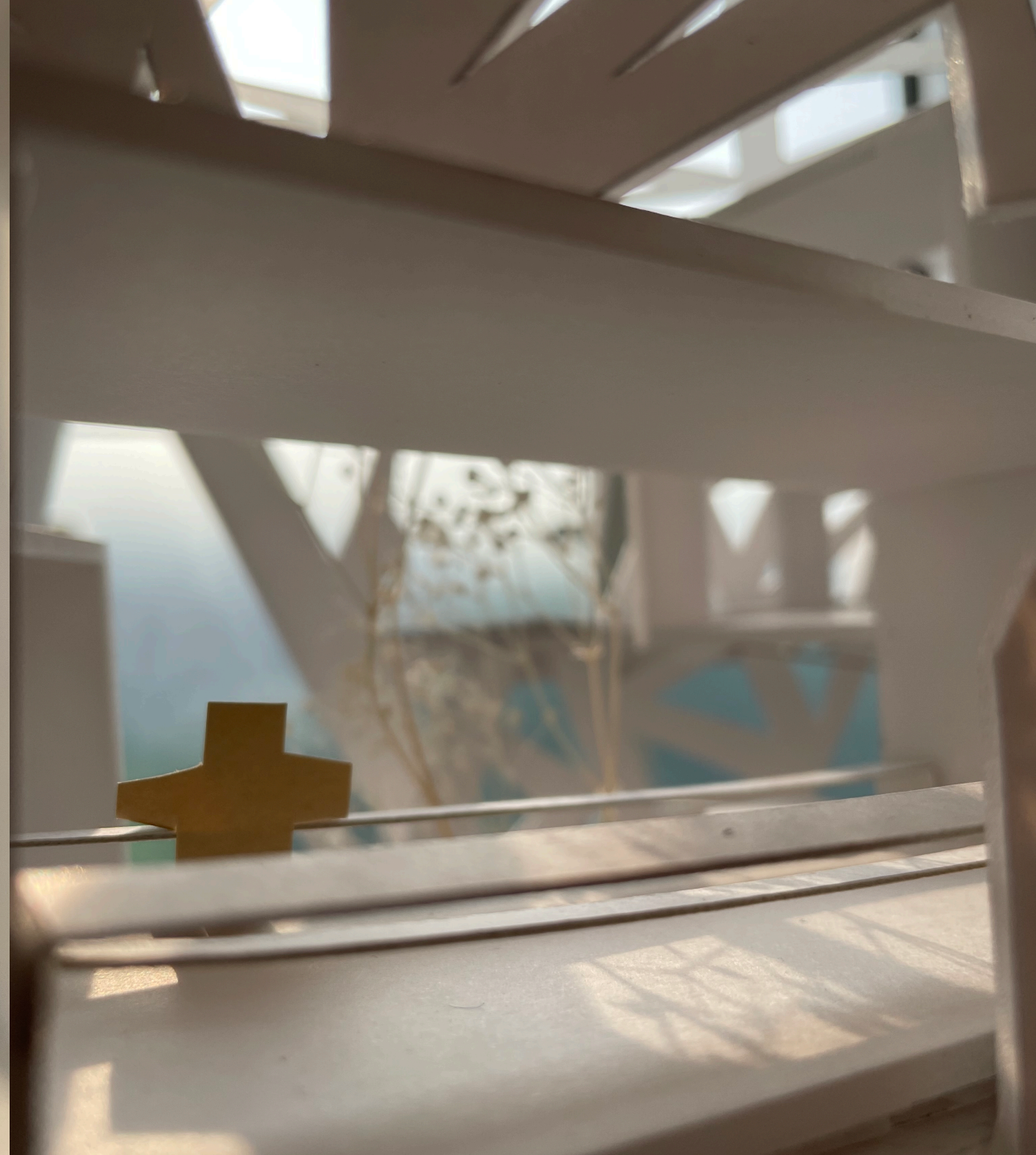
◎それぞれの箱へ、専用の階段をつける

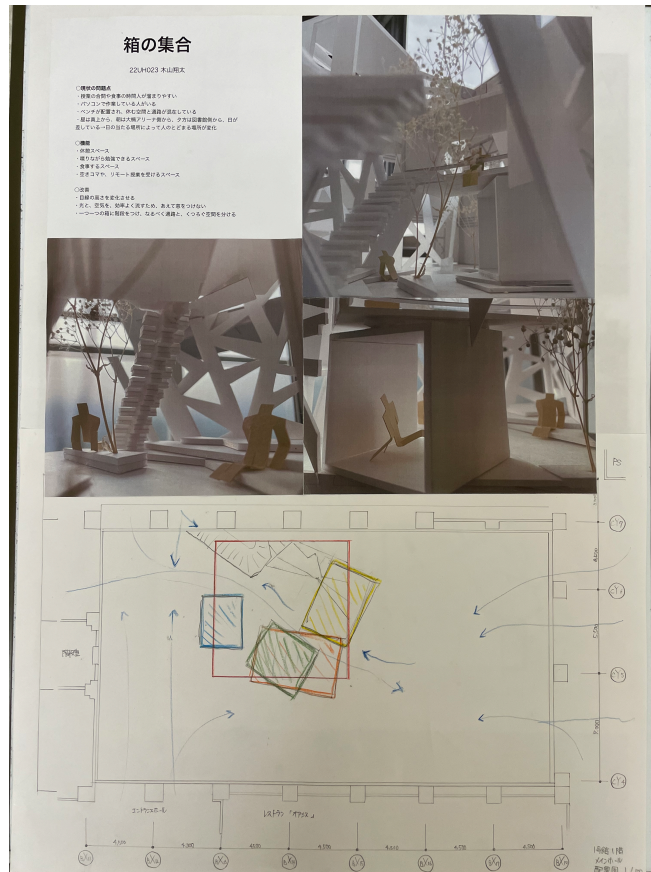




■箱の配置
関係性







ご清聴ありがとうございました。

22UH023 木山翔太